



逢見事務局長の7

ココ
だけの 新

増税 再延期 「新しい判断」?

アベノミクスの失敗 世界経済に責任をなすりつけ

安倍首相は2017年4月に予定していた消費増税の再延期を決めました。6月1日の記者会見で国民に説明したつもりなのでしょうが、あの会見で納得した人はどれだけいたでしょうか。2014年11月に1回目の延期を表明した際、「再び延期することは無い。景気判断条項を付けず確実に実施する」、そして「アベノミクスの3本の矢を前に進め、必ずやその経済状況を作り出す」と明言し、「リーマンショックのようなことが起こらない限り、予定通り増税を実施する」とも言っていました。こうした発言があつての再延期です。それから、リーマンショックのような事態となつていくのか問いたくなるのが当然ですが、安倍首相は「率直に言つてリーマンショック級の事態は発生していない」とし、「世界経済は大きなリスクに直面している。今、そこにあるリスクを正しく認識し、危機に陥ることを回避するため手を打つべきだ」と訴えました。また、「アベノミクスは失敗したのではないか」との質問には「道

半ばではあるがアベノミクスは順調に結果を出している」と強調しました。自分はうまくやっているのだが、海外に問題があると、自身の責任をなすりつけています。

子育て支援・年金・医療・介護 社会保障の充実はどうなるの?

「では、なぜ増税再延期なのか」という記者の質問に対して「今回再延期するという私の判断は、これまでの約束とは異なる新しい判断だ」と答えています。アベノミクスがうまくいっていないことを隠していると思えない発言です。「新しい判断」と言つてしまえば、政治家は嘘を言つても許されるんですね。まったく呆れてモノが言えません。

増税延期によつて、増税分で賄はずだった社会保障の充実が遅れる心配があります。待機児童の解消に向けた保育所の人件費の引き上げなどは先行実施すると言っていますが、その財源は明確になつていません。年金改革や医療・介護の支援強化などはこれからどうなるのでしょうか。これでは国民の将来不安はなくなるどころか、膨らむ一方です。

社長「来年4月に予定していたベアの実施を2019年10月まで延期させてもらいたい」

労組「延期は2度めじゃないですか。2014年に延期した時、『この次は必ず実施する』、その後も、『リーマンショックのような危機が起こらない限り実施する』と言つてましたよね、社長」

社長「そう言つたのは事実だ」

労組「今、リーマンショック級の事態が起こつてゐるんですか? 会社は危機的状況にあるんですか?」

社長「そういう事態ではないと認識している。会社の業績は道半ばではあるが順調に推移している」

労組「約束が違つてはありませんか。なぜベアの実施を再延期するんですか」

社長「これは、新しい判断だ」

リスクに効くクスリが要りますね。

「アベノリスク効く生薬のベア」

(上から読んでも、下から読んでも)

連合で取り扱い中!

